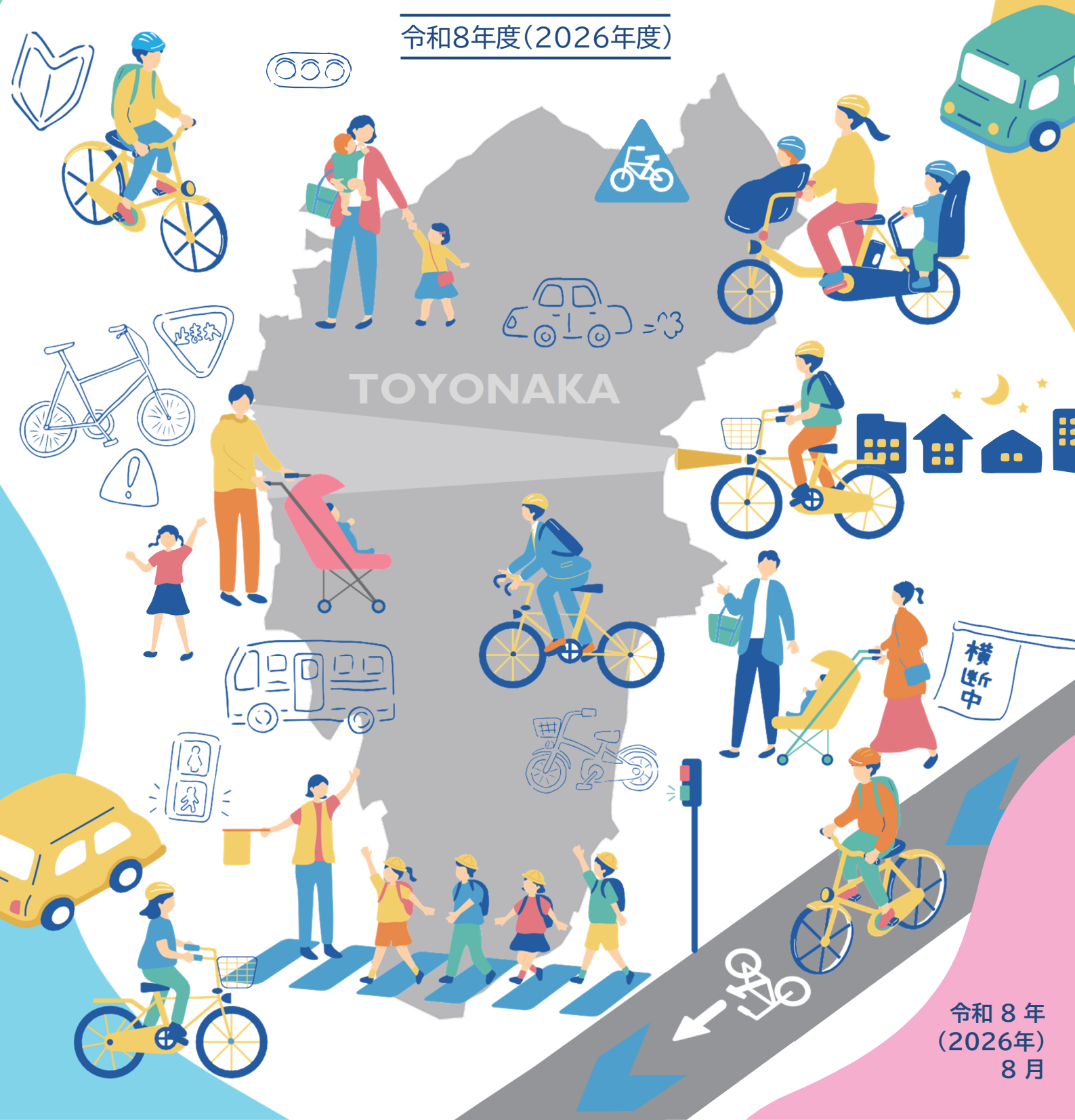


豊中市

こどもの安心送迎ルート 整備計画

令和8年度(2026年度)



令和8年
(2026年)
8月

目 次

第 1 章 はじめに	1
①計画策定の背景	1
②計画の目的	1
③計画期間	1
④計画の位置づけ	2
第 2 章 こども送迎に関する現状と課題	3
① 交通量調査・こどもを送迎する保護者アンケート	3
② こども送迎の現状と課題	5
第 3 章 こどもの安心送迎ルート基本方針	6
① こどもの安心送迎ルートの基本方針	6
② こどもの安心送迎ルート設定の考え方	7
③ こどもの安心送迎ルート整備の共通施策	7
共通施策Ⅰ 自転車の通行位置を示す矢印・自転車ナビマークの設置	7
共通施策Ⅱ 各園の現場状況に応じた歩道のバリアフリー化	8
共通施策Ⅲ 園出入口部を示す路面カラー化・予告サインの設置	8
共通施策Ⅳ こどもの安心送迎ルートを示す案内サインの設置	8
④ こどもの安心送迎ルート整備の個別施策	8
第 4 章 対象施設の選定・施策内容	9
① 対象施設の選定	9
② モデル事業におけるアンケート結果・施策内容	10
③ 各対象施設における施策内容	13
第 5 章 計画の実現に向けて	23
① 関係者連携と合意形成	23
② PDCAサイクルによる評価・改善	23
③ 情報共有と適切な維持管理	23
④ 自転車マナーアップへの取組み	23

第1章 はじめに

① 計画策定の背景

●こども送迎を取り巻く環境

子育て施設へのこども(未就学児)の送迎は、徒歩(ベビーカーを含む)・自転車・自動車など送迎手段が多様であり、主に生活道路を利用しますが、生活道路では道幅が狭い、歩道と車道が分離されていない等の理由により、歩行者・自転車・自動車が近距離で錯綜しやすい状況にあるため、生活道路の特性に即した安全な道路環境の構築が必要です。

●こどもを乗せた自転車の通行環境

自転車は車道通行が原則ですが、こどもを乗せた自転車では交通量の多い車道を通行することに不安を感じ、歩道を通行せざるを得ない状況があります。

また、歩道を自転車で通行する場合は、歩行者優先ですが、こどもの送迎等で利用される自転車の多くは、電動タイプでスピードが出やすく、歩行者の安全面が危惧されています。

② 計画の目的

こどもの送迎等で利用される子育て施設の周辺道路において、新たに「こどもの安心送迎ルート」を設定し、安全で快適な歩行空間および自転車の快適な通行環境を整備します。

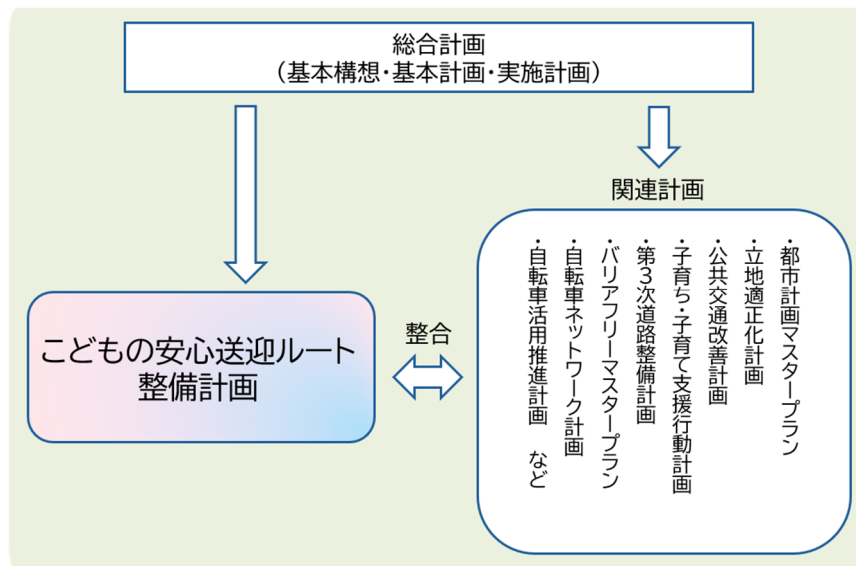
「こどもの安心送迎ルート」の設定により、こども本人・こども送迎を行う保護者等をはじめとした誰もが安全で快適に通行できる道路空間をめざします。

③ 計画期間

令和8年度(2026年度)～令和12年度(2030年度)の5か年とし、本計画の整備効果を踏まえながら、必要に応じて見直しを行います。

④ 計画の位置づけ

自転車の通行環境改善(自転車通行空間整備、自転車利用ルール周知・マナー向上等)を目的とした「豊中市自転車ネットワーク計画」を主な関連計画として、上位・関連計画と整合を図るものとします。



また、本市では、持続可能な開発目標 SDGs に基づいた施策を推進しており、本計画においても17の目標の内、「3.すべての人に健康と福祉を」「10.人や国の不平等をなくそう」「11.住み続けられるまちづくりを」の達成に向けた取組みを進めます。



第2章 こども送迎に関する現状と課題

① 交通量調査・こどもを送迎する保護者アンケート

「豊中市こどもの安心送迎ルート整備計画」を策定するにあたり、交通量調査・こどもを送迎する保護者を対象としたアンケートを実施しました。

●交通量調査

子育て施設周辺道路の交通状況を把握するため、交通量調査を実施しました。

実 施 日	[第一回] 2025年11月21日(金), [第二回] 2025年12月5日(金)
実施時間帯	朝 7:30~9:30 夕 16:30~18:30 (送迎ピークと考えられる朝夕の計4時間)
計測方法	人力観測 または ビデオ観測
計測対象	自動車, 自転車, 歩行者, ベビーカー
計測場所	園出入口部および園周辺道路

●全体アンケート

実際に利用している子育て施設10園(※)の保護者を対象に、共通する課題を把握し、基本方針を検討するため、アンケートを実施しました。

〈概要〉

配布数:1,021票

回答数:333票 (回答率:32.6%)

※モデル事業として整備する北緑丘こども園を除く

●モデル事業アンケート

モデル事業として整備する子育て施設の保護者を対象に、施設周辺の特性に起因する課題を把握するため、アンケートを実施しました。

〈概要〉

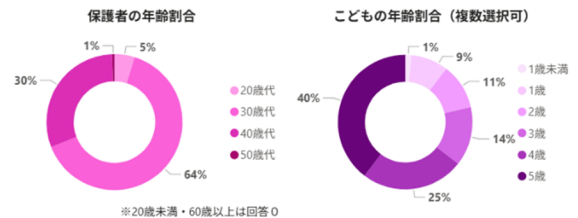
配布数:96票

回答数:51票 (回答率:53.1%)

回答者（保護者およびこども）の基本情報

333

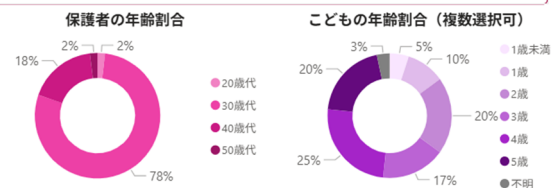
回答者数



回答者（保護者およびこども）の基本情報

51

回答者数



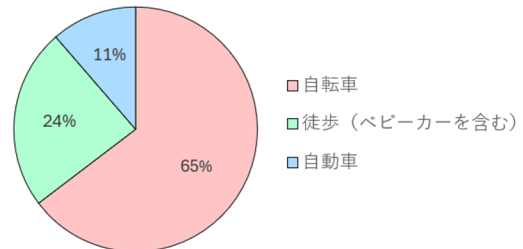
●全体アンケートの集計・評価

全体アンケートを実施した子育て施設 10 園において、危険箇所および有効な安全対策に関する回答の上位3項目を送迎手段別に集計・整理し、全体としての評価を行いました。

〈主な送迎手段〉

自転車の回答が最も多く、次いで徒歩（ベビーカーを含む）、自動車の順となりました。

〈主な送迎手段〉



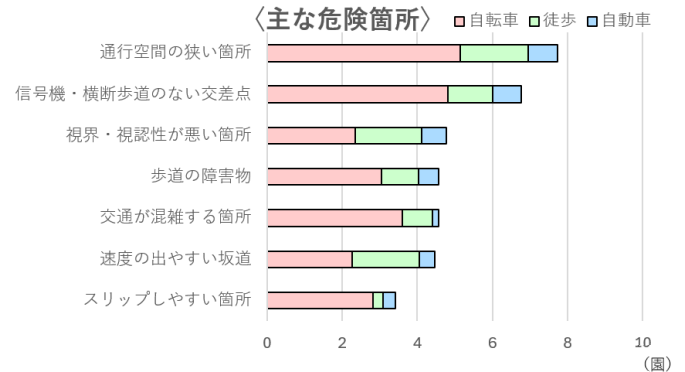
〈主な危険箇所〉

「通行空間の狭い箇所」や「信号機・横断歩道のない交差点」を危険箇所として挙げる回答が多く、歩行者や自転車、自動車が錯綜する場所に危険を感じている状況がうかがえます。

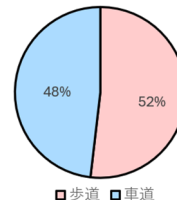
また、自転車利用者の半数が「車道が狭い」や「自動車がスピードを出していて危険」といった理由により、歩道を通行していることから、車道の通行環境に不安を感じている状況がうかがえます。

一方で、「視界・視認性が悪い箇所」や「歩道の障害物」など歩道に関する危険箇所の回答も見られたことから、安全で快適な歩行空間の確保についても併せて進めていく必要があります。

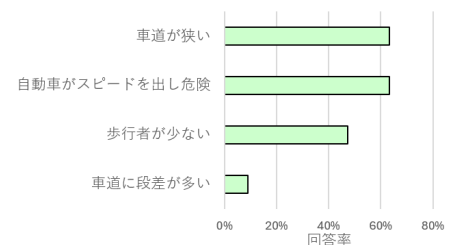
〈主な危険箇所〉



自転車通行区分



歩道を通行する理由

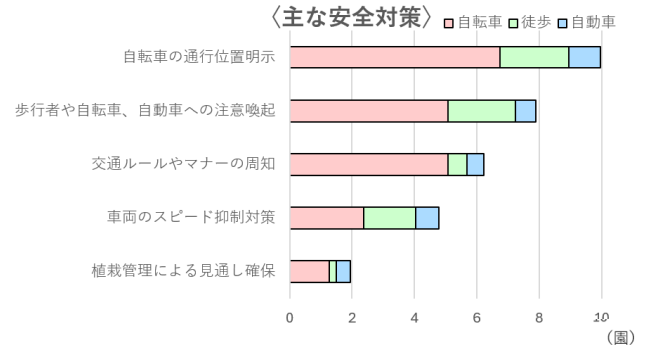


〈主な安全対策〉

有効と考えられる主な安全対策として、「自転車の通行位置明示」、「歩行者や自転車、自動車への注意喚起」、「交通ルールやマナーの周知」に関する回答が多く、自転車利用者の安全確保に向けた対策や交通安全啓発の必要性が示されています。

また、その他の危険箇所や安全対策については、地域ごとの道路環境や交通状況に起因する課題であるため、各施設の周辺状況を踏まえた個別対策の検討が重要です。

〈主な安全対策〉



② こども送迎の現状と課題

●こども送迎の現状

交通量調査から把握したこども送迎の現状は以下のとおりで、各園概ね同様の傾向がみられます。

現 状	
送 迎 方 法	自転車や徒歩での送迎が過半数で、自動車やベビーカーは少数。
歩道利用状況	自転車送迎の約半数が歩道を走行している状況。
横 断 状 況	園周辺では乱横断はほとんど見られず、歩道の横断防止柵が効果を発揮。
ピーク時 間	朝9時前後が送迎ピークとなり、園出入口で混雑が発生。

●こども送迎の課題

全体アンケートの集計・評価結果を踏まえ、市内の子育て施設周辺道路における主な課題を以下のとおり整理しました。

課 題（取り組むべき事項）	
① 自転車送迎時の安全対策の強化	
	送迎手段として自転車の利用が多く、安全に通行できる環境が求められている ↓ 「自転車の通行位置明示」や「歩行者や自転車、自動車への注意喚起」など、自転車利用者の安全確保に向けた対策の強化が必要
② 安全で快適な歩行空間の確保	
	「歩道のバリア」や「視界・視認性が悪い箇所」など歩道に危険箇所がみられる ↓ 誰もが安心して通行できる歩行空間の確保が必要
③ 地域特性に応じた安全対策の推進	
	地域ごとに異なる道路環境や交通状況に起因する危険箇所が存在する ↓ 各施設周辺の特性に応じた安全対策の推進が必要
④ 自転車利用ルール・マナーの啓発活動の強化	
	自転車の安全な利用促進には、交通ルールやマナーに対する理解を深めることが重要 ↓ 「交通ルールやマナーの周知」など交通安全啓発活動の強化が必要

第3章 こどもの安心送迎ルート基本方針

① こどもの安心送迎ルートの基本方針

将来像

子育て施設まで安全で快適に
こども送迎ができる通行環境の創出

はしる

課題① 自転車送迎時の安全対策の強化

【方針①】 こどもを乗せた自転車が安心して送迎できる通行環境を創出します

幹線道路等の既存の自転車ネットワークと子育て施設までの生活道路を結ぶことで、こどもを乗せた自転車が安心して送迎できる通行環境を創出します。

まもる

課題② 安全で快適な歩行空間の確保

【方針②】 歩道における危険箇所を解消し、誰もが安心して通行できる歩行空間を確保します

通行の支障となる歩道のバリア(段差・勾配・舗装のがたつき等)や視認性・視界の悪い箇所を解消することで、安全で快適な歩行空間を確保します。

きく

課題③ 地域特性に応じた安全対策の推進

【方針③】 保護者等の意見を聴きながら、各子育て施設周辺の特性に応じた対策を進めます

こども・子育て世代の視点に立ち、子育て施設を日ごろから利用する保護者等の意見を整備内容に反映することで、「こどもの安心送迎ルート」の安全性・利便性の向上を図ります。

まなぶ

課題④ 自転車利用ルール・マナーの啓発活動の強化

【方針④】 自転車の交通ルールやマナーの周知・啓発による交通安全意識の向上を図ります

交通安全啓発を目的とした現地サイン等の設置を行うとともに、地域対象の交通安全教室と連携することで、自転車マナーアップ活動の充実を図ります。

② こどもの安心送迎ルート設定の考え方

以下の要件に沿って、子育て施設の「こどもの安心送迎ルート」を設定します。

要件Ⅰ こどもの送迎が多くなる子育て施設の周辺ルート

子育て施設の周辺道路(概ね200～300m圏内)においてルートを設定します。

要件Ⅱ 市民、子育て施設関係者等の意見や課題が多いルート

自動車交通量が多い、歩道を走行する自転車が多い、ベビーカーで通りにくい歩道がある等の市民意見や課題が多いルートを設定します。

要件Ⅲ 既存の自転車ネットワークとの連続性を考慮したルート

子育て施設の周辺道路だけでなく、遠方からのアクセス性を向上させるため、既存の自転車ネットワークとの連続性を考慮したルートを設定します。

要件Ⅳ 複数方向からのアクセス性を考慮したルート

主要幹線道路等からのアクセスだけでなく、現地の交通状況をふまえ、通行頻度が高い生活道路等を含む複数方向からのアクセス性を考慮したルートを設定します。

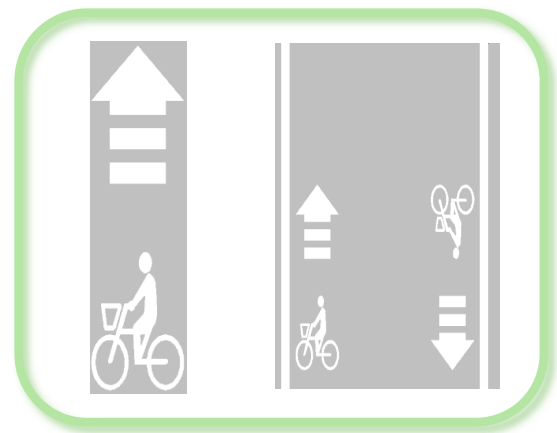
③ こどもの安心送迎ルート整備の共通施策

「こどもの安心送迎ルート」を対象に、基本方針に基づく共通施策を実施します。共通施策を基本としつつ、地域ごとの道路環境や交通状況を踏まえた個別施策を組み合わせることで、地域特性に応じた柔軟かつ実効性の高い安全対策を推進します。

共通施策Ⅰ 自転車の通行位置を示す矢印・自転車ナビマークの設置

自転車が安全に通行できるよう通行位置(通行場所・進行方向)を示す矢印・自転車ナビマークを設置します。

〈矢印・自転車ナビマークの設置間隔〉
ルート両起点+最大設置間隔100m以下とし、
カーブ等の視認性を考慮した配置とする。
※原則、歩車分離道路(歩道のある道路)の車道部を対象

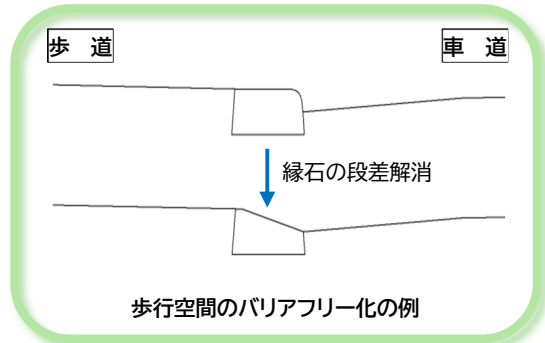


共通施策 II 各園の現場状況に応じた歩道のバリアフリー化

ベビーカー利用者をはじめとする誰もが通行しやすい歩行空間を形成するため、歩道のバリアフリー化を実施します。

〈歩行空間のバリアフリー化〉

ルート上の歩道のバリア箇所を抽出し、各園の現場状況に応じたバリアフリー化を実施する。

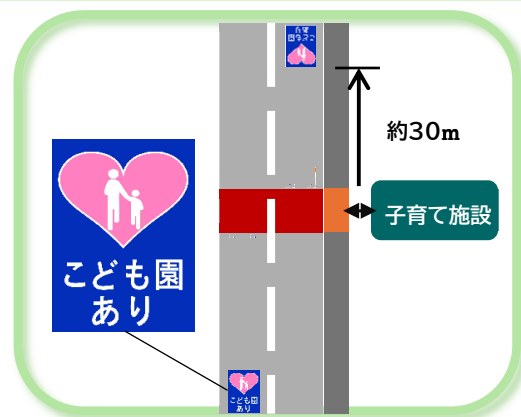


共通施策 III 園出入口部を示す路面カラー化・予告サインの設置

車両ドライバーへの注意喚起(減速・飛び出し注意など)のため、園出入口部の路面をカラー舗装し、園出入口部の前後約30mの位置に予告サインを設置します。

〈路面のカラー舗装〉

車道は「赤茶色(ベンガラ)」、歩道は「橙色(オレンジ)」とする。※現場状況に応じて、視認性の良い色に変更



共通施策 IV こどもの安心送迎ルートを示す案内サインの設置

こども送迎や園外活動の移動等が行われる道路であることを周知・浸透させるため、案内サインを設置します。

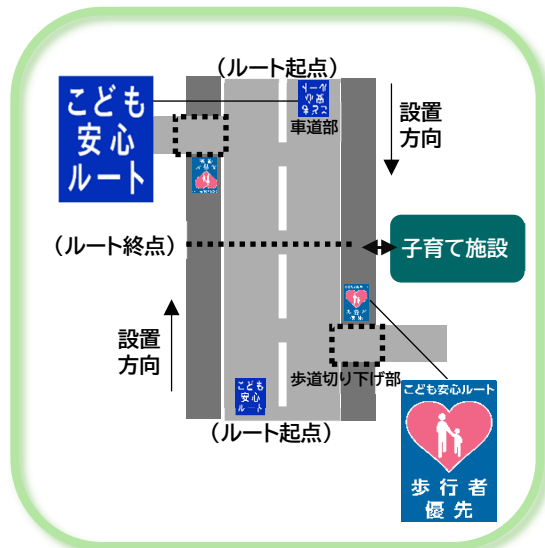
〈案内サインの設置(車道部)〉

ルート両起点に「こども安心ルート」の案内サインを設置。

〈案内サインの設置(歩道部)〉

歩道切り下げ部の起点側に「歩行者優先」の案内サインを設置。

※子育て施設を終点とし、進行方向(起点→終点)に向かって設置



④ こどもの安心送迎ルート整備の個別施策

共通施策に加え、視界・視認性が悪い箇所や速度の出やすい坂道など、地域ごとの道路環境や交通状況に起因する危険箇所については、現場状況を踏まえながら、個別施策を検討・実施します。

第4章 対象施設の選定・施策内容

① 対象施設の選定

調査結果に基づき、安全対策に多くの課題が認められる子育て施設として、計12園を対象施設に選定しました。初年度に整備を実施する対象施設をモデル事業として、順次「こどもの安心送迎ルート」を整備します。

また、本計画の整備効果を踏まえながら、民間こども園を含めた対象施設の拡大を行います。

対象施設(計12園)			
① 北緑丘こども園	⑤ 桜井谷こども園	⑨ 本町こども園	
② (仮称)緑地公園ちとせ認定こども園	⑥ とねやまこども園	⑩ ともだちこども園	
③ 東丘こども園	⑦ 東豊中こども園	⑪ てしまこども園	
④ 西丘こども園	⑧ ゆたかこども園	⑫ 栄町こども園	

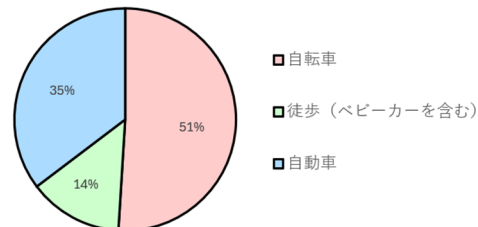


② モデル事業におけるアンケート結果・施策内容

〈主な送迎手段〉

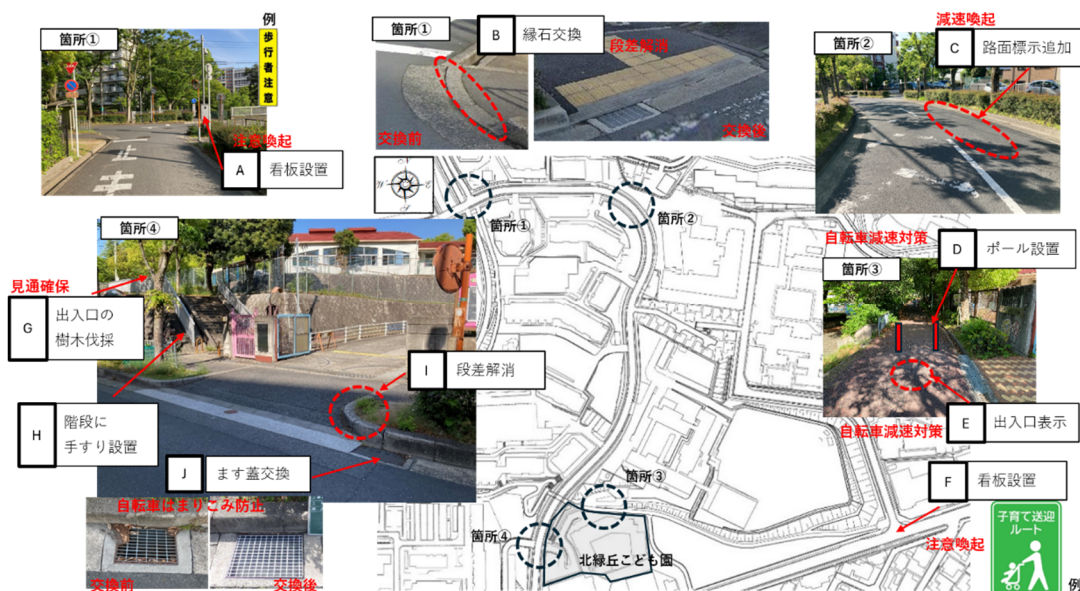
自転車の回答が最も多く、次いで自動車、徒歩(ベビーカーを含む)の順となりました。他の子育て施設と比較して自動車の利用割合が高く、送迎の約9割が自転車・自動車によるものとなっています。

〈主な送迎手段〉



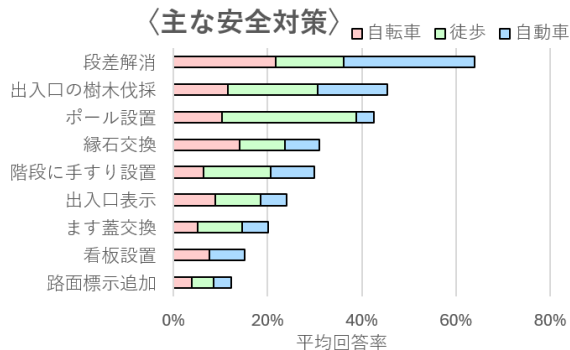
〈主な安全対策〉

施策内容を検討するため、具体的な対策箇所や対策内容を提示し、有効と考えられる安全対策について調査しました。



有効と考えられる主な安全対策として、「段差解消」「出入口の樹木伐採」「ポール設置」など、出入口付近の安全対策に関する回答が多く、北緑丘こども園は車両乗り入れ部付近に段差や樹木などの障害物があるほか、高台に位置し、坂道や階段があることから、出入口付近を中心とした安全対策が求められていると考えられます。

〈主な安全対策〉



〈施策内容〉

モデル事業アンケートの結果を基に設定した施策内容は以下のとおりです。

① 北緑丘こども園(モデル事業)

対象路線：北緑丘団地線（L=530m）

現地課題

- ・自転車通行空間が明示されていない

アンケート

- ・園出入口部に段差あり、乗り入れ幅が狭い、樹木で見通しが悪い
- ・歩道を走る自転車のスピードが危険
- ・交通分離（歩行者・自動車・自転車）の要望が多い

交通量調査

- ・送迎者の約9割が自動車・自転車で送迎している
- ・自転車の過半数が歩道を走行している

対象路線：北緑丘歩第2号線（L=250m）

現地課題

- ・舗装の凹凸・ひび割れ箇所が多い

アンケート

- ・ポール設置の要望あり（坂道で自転車のスピードが速い）
- ・園の表示がなく出入口が分かりづらい
- ・学生による自転車の並走や飛び出しが多い

交通量調査

- ・送迎者の過半数が徒歩（ベビーカー等）で送迎している
- ・坂道でスピードの出ている自転車と歩行者が錯綜している

共通施策の実施

① 矢印・自転車ナビマークを設置(○)

自転車ネットワークとの接続を考慮し、自転車ナビマーク設置

② 歩道のバリアフリー化(○)

縁石の段差解消、カラー舗装、舗装の凹凸・ひび割れ解消などを実施

③ 園出入口部を示す路面カラー化・予告サインを設置(○)

園出入口付近において、通行車両への注意喚起のため予告サインやカラー舗装を実施

④ 送迎ルートの案内サインを設置(○)

ルート上に「こどもの安心送迎ルート」を示す案内サインを設置

北緑丘団地線(曲線部)

- ・見通しが悪く、自動車と自転車の接触が危険

【個別施策】速度抑制の路面標示

北緑丘団地線

北緑丘歩第2号線(交差部)

- ・坂道での自転車のスピードが危険

【個別施策】ポール設置



北緑丘団地線(園出入口部)

- ・樹木でこども園出入口部の見通しが悪い
- ・階段がバリアフリー化されていない

【個別施策】高木伐採、階段の手すり設置



北緑丘歩第2号線

【凡例】

- 子育て施設
- 施設出入口
- こどもの安心送迎ルート
- 自転車ネットワーク

② (仮称)緑地公園ちとせ認定こども園(モデル事業)

対象路線：東寺内町第2号線(L=390m)

現地課題

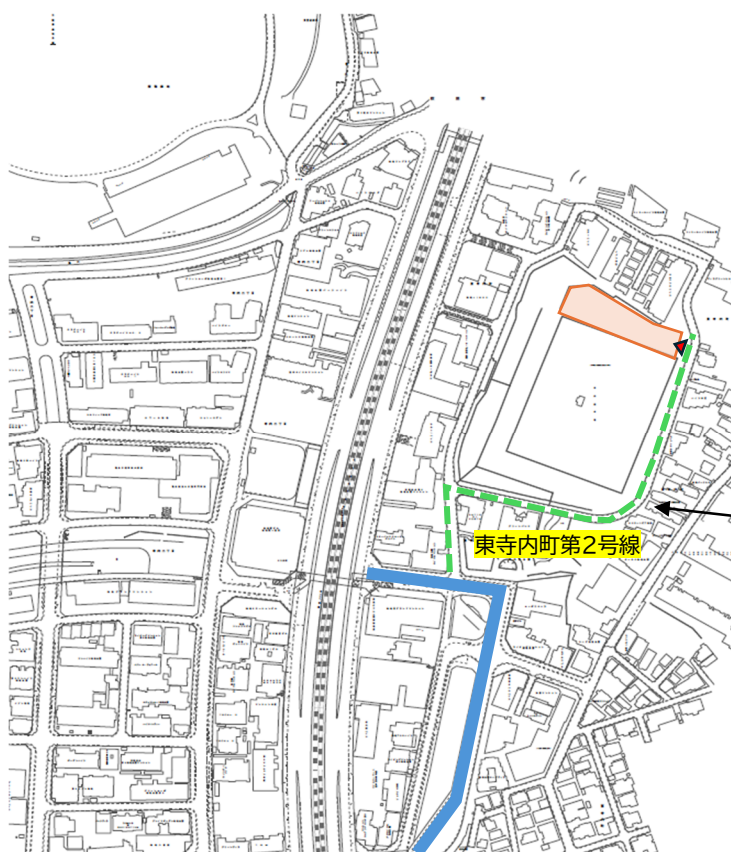
- ・道路の曲線部での見通しが悪い
- ・坂道が続き、自転車のスピードが速い

アンケート

- ・道路の曲線部の幅員が狭く、対向車両や歩行者との接近等があり危険である
- ・園出入口部の表示や交差点のカラー化など注意喚起が必要

共通施策の実施

- ①矢印・自転車ナビマークを設置(×)
歩車分離されておらず、歩道がないため実施しない
- ②歩道のバリアフリー化(×)
歩車分離されておらず、歩道がないため実施しない
- ③園出入口部を示す路面カラー化・予告サインを設置(○)
園出入口付近において、通行車両への注意喚起のため予告サインやカラー舗装を実施
- ④送迎ルートの案内サインを設置(○)
ルート上に「こどもの安心送迎ルート」を示す案内サインを設置



東寺内町第2号線(曲線部)

- ・曲線部で見通しが悪く幅員も狭い
- ・対向車との離合スペース、歩行者の退避スペースが必要

【個別施策】側溝の蓋掛け



【凡例】

- 子育て施設
- 施設出入口
- こどもの安心送迎ルート
- 自転車ネットワーク

③ 各対象施設における施策内容

計画対象施設として設定した10園における施策内容は以下のとおりです。

③東丘こども園	
対象路線：新千里東町第6号線（L=90m）	
現地課題	・園出入口周辺では、自動車・自転車・歩行者が混在しており危険
アンケート	・こどもが飛び出して自動車に接触しないか不安である ・園内に駐車場が確保されたことで、園出入口付近での自動車との接近が不安
交通量調査	・送迎者の約9割が自転車・徒歩（ベビーカー等）で送迎している
共通施策の実施 ①矢印・自転車ナビマークを設置(×) 歩車分離されておらず、歩道がないため実施しない ②歩道のバリアフリー化(×) 歩車分離されておらず、歩道がないため実施しない ③園出入口部を示す路面カラー化・予告サインを設置(○) 園出入口付近において、通行車両への注意喚起のため予告サインやカラー舗装を実施 ④送迎ルートの案内サインを設置(○) ルート上に「こどもの安心送迎ルート」を示す案内サインを設置	
 新千里東町第6号線（東丘小学校通り線との交差） ・こどもの飛び出しに注意が必要 【個別施策】 看板の設置（こどもの飛び出し注意など） 【凡例】 - 子育て施設 - 施設出入口 - こどもの安心送迎ルート	

④西丘こども園

対象路線：新千里西町歩第30号線・31号線(L=230m)

現地課題

- ・歩道が狭く、歩行者や自転車の通行が混在し危険である
- ・坂道が続き、急勾配となる区間で自転車のスピード超過が懸念される

アンケート

- ・こどもの飛び出しによる衝突事故のリスクが高い
- ・園出入口の明示が必要である

交通量調査

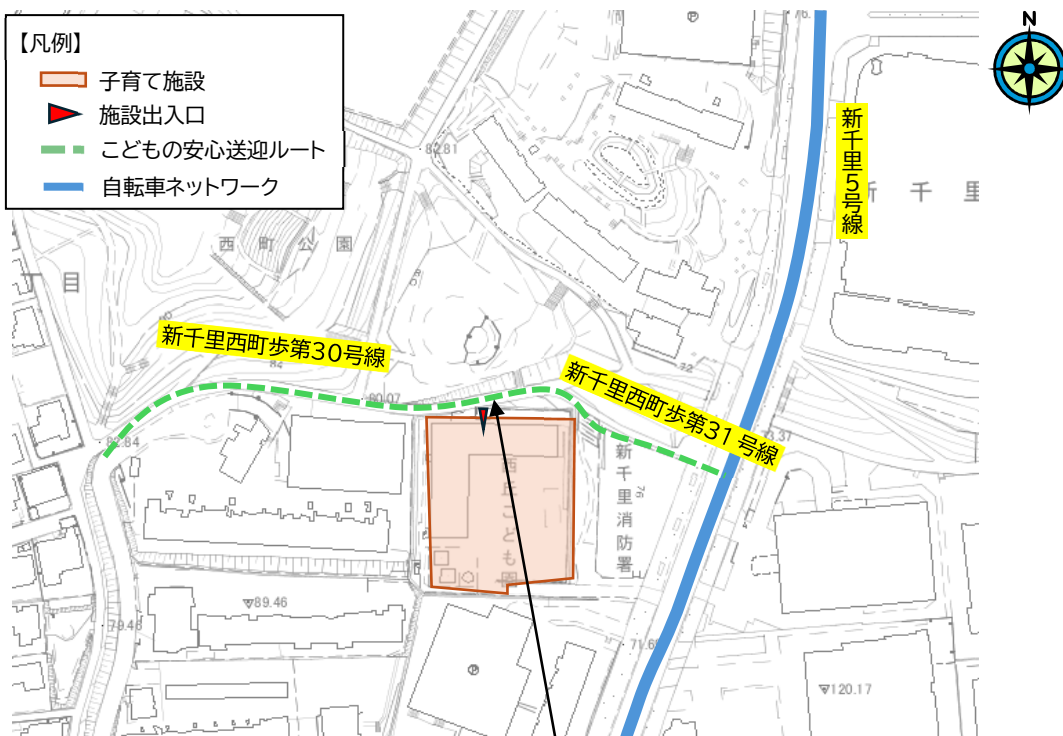
- ・送迎者の約9割が自転車・徒歩(ベビーカー等)で送迎している

共通施策の実施

- ①矢印・自転車ナビマークを設置(×)
歩車分離されておらず、歩道がないため実施しない
- ②歩道のバリアフリー化(×)
歩車分離されておらず、歩道がないため実施しない
- ③園出入口部を示す路面カラー化・予告サインを設置(○)
園出入口付近において、通行車両への注意喚起のため予告サインやカラー舗装を実施
- ④送迎ルートのご案内サインを設置(○)
ルート上に「こどもの安心送迎ルート」を示す案内サインを設置

【凡例】

- 子育て施設
- 施設出入口
- こどもの安心送迎ルート
- 自転車ネットワーク



新千里西町歩第30号線(園出入口部)

- ・送迎手段の多くは徒歩である。
- ・園出入口前は坂道で、自転車のスピード超過とこどもの飛び出しによる接触が危険

【個別施策】看板の設置(こどもの飛び出し注意)

【個別施策】自転車の速度抑制対策(ポール設置など)



⑤桜井谷こども園

対象路線：二中南側桜の町線（L=230m）

現地課題

- ・道幅が狭く、歩道がないため、路側帯で歩行空間を形成している

アンケート

- ・道幅が狭く、側溝に蓋をしてほしい
- ・車道と自転車通行空間、歩道内の通行位置を分離・明示することが求められる

交通量調査

- ・送迎者の約5割が自転車、約4割が徒歩で送迎している
- ・自転車の過半数が車道を走行

共通施策の実施

①矢印・自転車ナビマークを設置(○)

自転車ネットワークとの接続を考慮し、自転車ナビマーク設置

②歩道のバリアフリー化(×)

路側帯カラー舗装などの安全対策がなされているため実施しない

③園出入口部を示す路面カラー化・予告サインを設置(○)

園出入口付近において、通行車両への注意喚起のため予告サインやカラー舗装を実施

④送迎ルートの案内サインを設置(○)

ルート上に「こどもの安心送迎ルート」を示す案内サインを設置



⑥とねやまこども園

対象路線：刀根山第15号線、16号線、17号線
(L=210m)

現地課題

・出入口付近での見通しが悪い

アンケート

・園・駐輪場出入口の見通しが悪い

・路上駐車が多さや、送迎車両の速度が速い

交通量調査

・送迎者の約5割が自転車。ベビーカーでの送迎は約1割

対象路線：刀根山小学校北通り線
(L=550m)

現地課題

・坂道が続き自転車や自動車のスピード超過が懸念される

・交差点での見通しが悪い

アンケート

・自転車の通行位置を明示してほしい

・自動車の速度抑制対策、植栽管理、看板設置が必要

共通施策の実施

①矢印・自転車ナビマークを設置(○)

自転車ネットワークとの接続を考慮し、自転車ナビマーク設置

②歩道のバリアフリー化(○)

縁石の段差解消、カラー舗装などを実施

③園出入口部を示す路面カラー化・予告サインを設置(○)

園出入口付近において、通行車両への注意喚起のため予告サインやカラー舗装を実施

④送迎ルートの案内サインを設置(○)

ルート上に「こどもの安心送迎ルート」を示す案内サインを設置

【凡例】

子育て施設

施設出入口

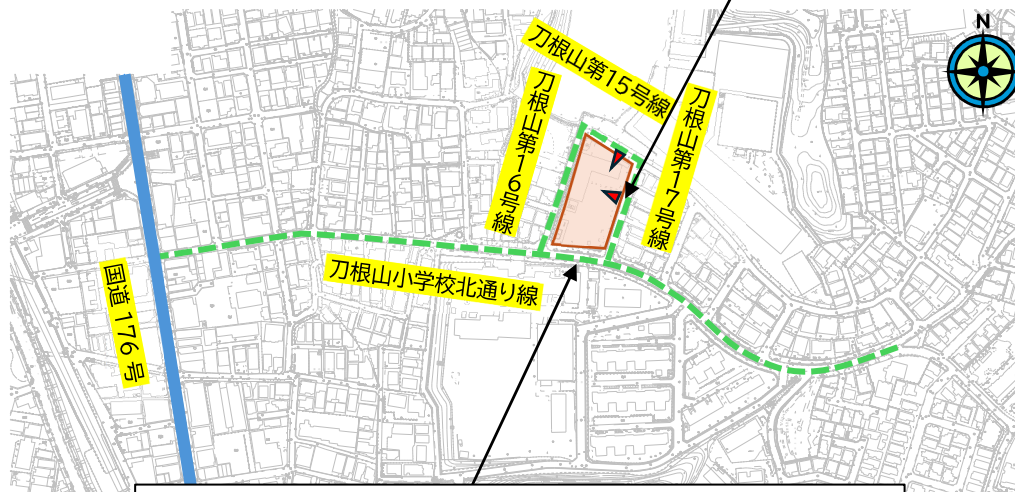
こどもの安心送迎ルート

自転車ネットワーク

刀根山第17号線(園出入口部)

・東側出入口利用者の約9割が自転車・徒歩での送迎
・路上駐車が多い

【個別施策】注意喚起看板の設置(路駐禁止)



刀根山小学校北通り線

・坂道のため自転車や自動車のスピードが出やすい

【個別施策】速度抑制対策(路面カラー化など)



⑦東豊中こども園

対象路線：東豊中熊野田線、東豊中町86号線(交差点)(L=680m)

現地課題

- ・狭い歩道で歩行者、自転車の交通が混在し危険である
- ・交差点、曲線部での見通しが悪い

アンケート

- ・自転車の通行位置を明示してほしい
- ・路上駐車による通行の妨げや、樹木や植栽により見通しが悪い

交通量調査

- ・送迎者の約9割が徒歩、自転車であり、自動車送迎は約1割程度
- ・自転車利用者の過半数が歩道を走行、乱横断は見られない

共通施策の実施

①矢印・自転車ナビマークを設置(○)

自転車ネットワークとの接続を考慮し、自転車ナビマーク設置

②歩道のバリアフリー化(○)

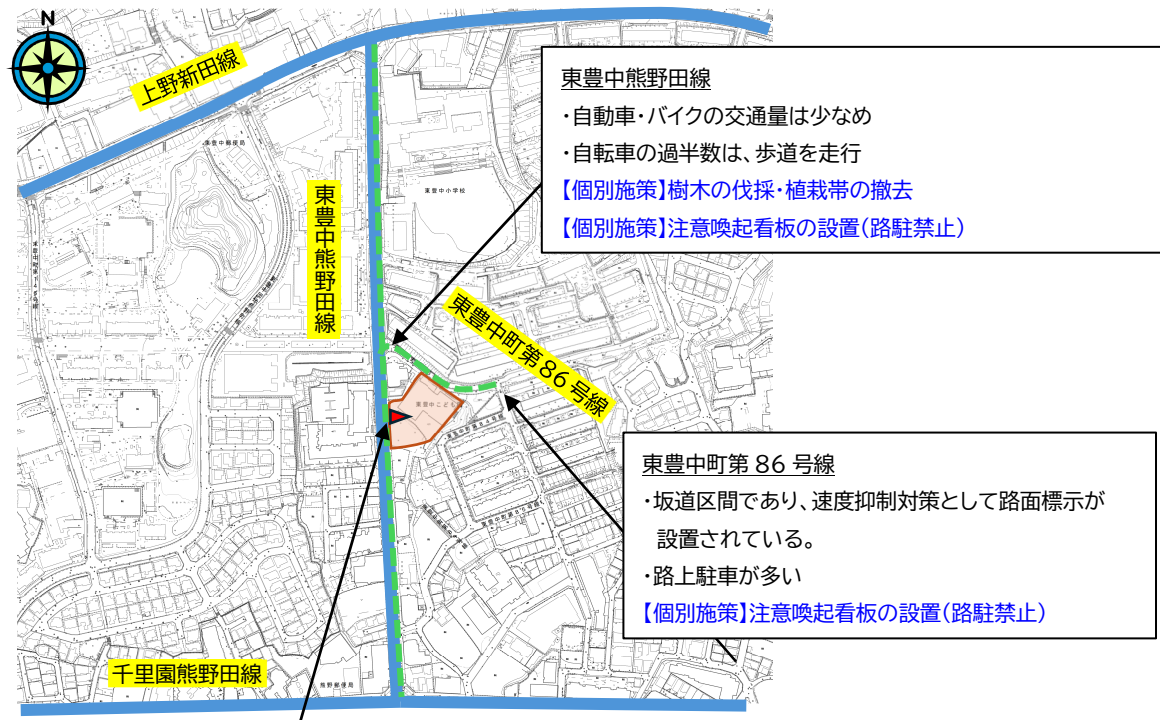
縁石の段差解消、カラー舗装などを実施

③園出入口部を示す路面カラー化・予告サインを設置(○)

園出入口付近において、通行車両への注意喚起のため予告サインやカラー舗装を実施

④送迎ルートの案内サインを設置(○)

ルート上に「こどもの安心送迎ルート」を示す案内サインを設置



東豊中熊野田線(園出入口部)

- ・送迎者の約9割が徒歩、自転車
 - ・植栽帯でこどもが見えず、見通しが悪い
- 【個別施策】樹木の伐採・植栽帯の撤去



【凡例】

- 子育て施設
- 施設出入口
- こどもの安心送迎ルート
- 自転車ネットワーク

⑧ゆたかこども園

対象路線：東豊中町第96号線（L=570m）

現地課題

- ・狭い歩道で歩行者、自転車の交通が混在し危険である
- ・坂道での自転車のスピード超過が懸念される

アンケート

- ・自転車の通行位置を明示してほしい
- ・自動車の速度抑制対策をしてほしい

交通量調査

- ・送迎者の約6割は徒歩であり、自転車での送迎は約3割である、ベビーカーによる送迎も一定数みられる
- ・自転車の過半数は車道を走行している、こども園前での乱横断は確認されない

共通施策の実施

①矢印・自転車ナビマークを設置(○)

自転車ネットワークとの接続を考慮し、自転車ナビマーク設置

②歩道のバリアフリー化(○)

縁石の段差解消、カラー舗装などを実施

③園出入口部を示す路面カラー化・予告サインを設置(○)

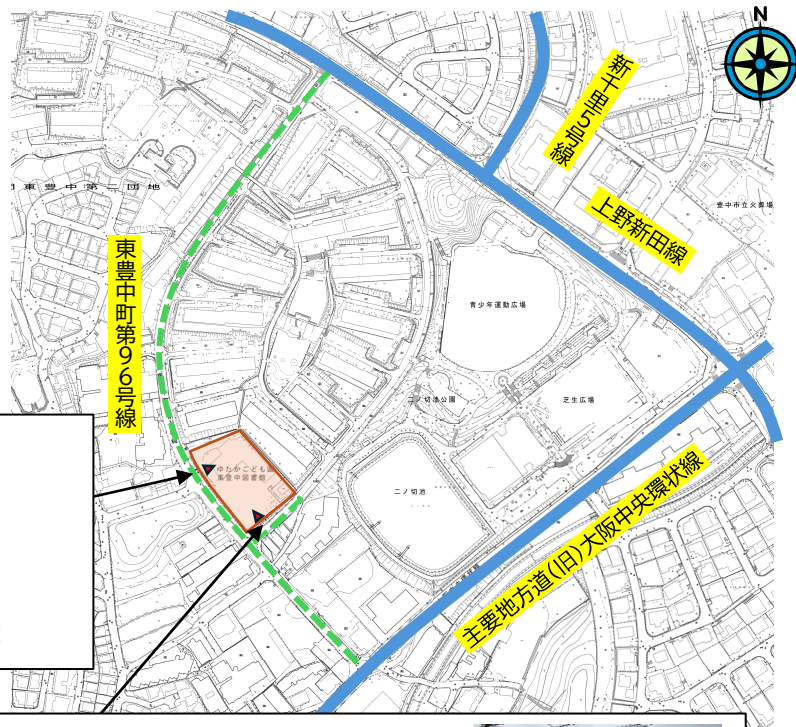
園出入口付近において、通行車両への注意喚起のため予告サインやカラー舗装を実施

④送迎ルートの案内サインを設置(○)

ルート上に「こどもの安心送迎ルート」を示す案内サインを設置

【凡例】

- 子育て施設
- ▶ 施設出入口
- こどもの安心送迎ルート
- 自転車ネットワーク



東豊中町第96号線(園出入口部)

- ・自転車の過半数は、車道を走行
- ・縦断勾配がきつく急カーブ
- ・自転車の速度と視認性の悪さが危険
- ・歩道が暗い

【個別施策】速度抑制対策、街灯の設置

東豊中町第96号線(こども園駐車場前の道路)

- ・交差点付近に東豊中図書館と共用の駐車場があり、出入り時の衝突リスクが高い
- ・送迎時間帯は駐車場への出入りが集中し、入場待機車両が発生している
- ・自転車、歩行者の飛び出しに注意

【個別施策】注意喚起看板の設置(こどもの飛び出し注意)



⑨本町こども園

対象路線：平塚熊野田線（L=500m）

現地課題

- ・信号機・横断歩道のない交差点、自転車、歩行者が多く狭い歩道など、狭間で見通しの悪い箇所で動線が錯綜することへの危険性がある

アンケート

- ・自転車の通行位置を明示してほしい
- ・園周辺の交差点での歩行者・自転車の飛び出しや、信号のない横断歩道で自動車が一時停止しないため横断が危険

交通量調査

- ・送迎者の約5割が自転車であり、徒歩は約3割、自動車は約2割程度である

共通施策の実施

①矢印・自転車ナビマークを設置(×)

自転車通行帯が整備済みのため実施しない

②歩道のバリアフリー化(○)

縁石の段差解消、カラー舗装などを実施

③園出入口部を示す路面カラー化・予告サインを設置(○)

園出入口付近において、通行車両への注意喚起のため予告サインやカラー舗装を実施

④送迎ルートの案内サインを設置(○)

ルート上に「こどもの安心送迎ルート」を示す案内サインを設置



平塚熊野田線（園出入口部）

- ・送迎者の約5割が自転車
- ・園周辺は交差点が密集しており、歩行者・自転車の飛び出しの危険が高い
- ・信号機のない横断歩道のため、自動車が一時停止せず、横断が危険

【個別施策】注意喚起看板の設置（こどもの飛び出し注意）



⑩ともだちこども園

対象路線：主要地方道伊丹豊中線（L=215m）

現地課題

- ・自転車、歩行者が多く、園出入口付近の歩道が狭く、見通しの悪い箇所がある

アンケート

- ・自転車の通行位置を明示してほしい
- ・こども園前の路上駐車が通行の妨げになっている
- ・駐輪場の段差に割れ目があり危険である

交通量調査

- ・送迎者の約9割が徒歩、自転車である
- ・自転車の過半数は歩道を走行している

共通施策の実施

①矢印・自転車ナビマークを設置(×)

自転車通行帯が整備済みのため実施しない

②歩道のバリアフリー化(○)

縁石の段差解消、カラー舗装などを実施

③園出入口を示す路面カラー化・予告サインを設置(○)

園出入口付近において、通行車両への注意喚起のため予告サインやカラー舗装を実施

④送迎ルートの案内サインを設置(○)

ルート上に「こどもの安心送迎ルート」を示す案内サインを設置

主要地方道伊丹豊中線(園出入口部)

- ・自転車の過半数は、歩道を走行
- ・こども園前面道路は自転車通行帯が整備済み
- ・園前に路駐する自動車があり、通行の妨げになっている

【個別施策】注意喚起看板の設置(路駐禁止など)



⑪てしまこども園

対象路線：豊島公園南通り利倉線
※一方通行（L=270m）

現地課題

- ・信号・横断歩道のない交差点での衝突の危険性
- ・狭い歩道で歩行者、自転車の交通が混在し危険である

アンケート

- ・自転車の通行位置を明示してほしい

交通量調査

- ・送迎者の約5割は自転車であり、徒歩は約4割、自動車は約1割程度
- ・自転車の過半数は車道を走行、園前での乱横断は確認されない

対象路線：中央幹線景観水路
（L=200m）

アンケート

- ・中央幹線景観水路沿いの歩道は自転車の通行が多く、タイル舗装のため雨天時に滑りやすい

共通施策の実施

①矢印・自転車ナビマークを設置（○）

自転車ネットワークとの接続を考慮し、自転車ナビマーク設置

②歩道のバリアフリー化（○）

縁石の段差解消、カラー舗装などを実施

③園出入口部を示す路面カラー化・予告サインを設置（○）

園出入口付近において、通行車両への注意喚起のため予告サインやカラー舗装を実施

④送迎ルートの案内サインを設置（○）

ルート上に「こどもの安心送迎ルート」を示す案内サインを設置



⑫栄町こども園

対象路線：阪急西側南線、庄内南1号線（L=185m）

現地課題

・狭い歩道、園出入口付近、信号機・横断歩道のない交差点などで、自動車、自転車、歩行者が混在し危険が集中している

アンケート

・自転車通行空間、歩道内の通行位置を分離・明示することが求められる
・車両の速度抑制対策、交差点へのミラー設置による視認性向上が必要とされている

交通量調査

・送迎者の約6割は自転車であり、自動車、徒歩はそれぞれ約2割程度、少数だがベビーカーでの送迎もみられる
・自転車の多くは車道を走行している、こども園前での乱横断は確認されない

共通施策の実施

①矢印・自転車ナビマークを設置(×)

自転車通行帯が整備済みのため実施しない

②歩道のバリアフリー化(○)

縁石の段差解消、カラー舗装などを実施

③園出入口部を示す路面カラー化・予告サインを設置(×)

歩道改良整備済みのため実施しない

④送迎ルートの案内サインを設置(○)

ルート上に「こどもの安心送迎ルート」を示す案内サインを設置



第5章 計画の実現に向けて

① 関係者連携と合意形成

「こどもの安心送迎ルート」の整備を計画的に進めるため、交通管理者や地域住民等の関係者と協働・連携し、整備内容や進め方について共通認識を形成します。あわせて、関係者間での調整を行い、合意形成を図りながら取組みを推進します。

② PDCA サイクルによる評価・改善

本計画は、実施して終わりとせず、計画(Plan)・実行(Do)・評価(Check)・改善(Act)を繰り返すことで、取組の実効性を高めます。また、「豊中市自転車ネットワーク計画(R6.3)」で定める自転車ネットワーク路線との整合性を図り、効果的かつ迅速な整備の実現を目指します。

③ 情報共有と適切な維持管理

整備完了路線については、関係者間における報告・連絡・相談などの情報共有を円滑に行います。これにより、整備した通行環境を継続的に活用できるよう、適切な維持管理につなげます。

④ 自転車マナーアップへの取組み

交通安全啓発を目的とした現地サイン等の設置や街頭での啓発活動の実施、地域や学校、未就学施設での交通安全教室を通じた自転車利用ルールの周知など、自転車マナーアップ活動の充実を図り、自転車利用者全体におけるルール遵守や安全意識向上につなげます。



40万人の とよなか 未来バトン

SDGs to 2030

豊中市

こどもの安心送迎ルート 整備計画

令和8年度(2026年度)

発行: 豊中市都市基盤部基盤整備課
住所: 〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号
TEL: 06-6858-2886 / FAX: 06-6854-0492
E-mail: douro_keikaku@city.toyonaka.osaka.jp

